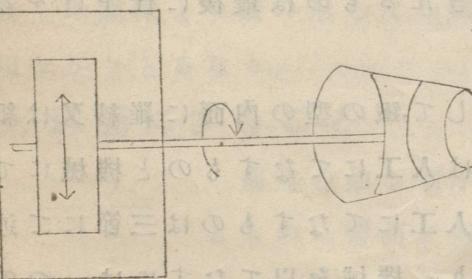


してこの松脂は更に融かして再び使用す。

以上述べたるはレンズの一面のみを作る方法なれども、之と同一の手續を繰り返す時は兩凸或は兩凹の球面レンズが作り得らるゝなり。

尙其他圓墻レンズ、プリズム等も作り居たり。圓墻レンズは亂視の人の使用するものにてプリズム型の眼鏡は斜視の人之をかけるものなりといふ。

かくして得たるものは尙その周圍に多少の凹凸あるが故に、之を削り磨きて圓くせざるべからず。之をなすに人工と機械と二種あり。人工にてなすには一尺許りの竹又は木の柄を樹脂にてレンズにつけ、亞鉛板製の圓墻或は截頭中空内錐の中に金剛砂を入れて、この中に先づ



「左圖」機械を用ふる
方法は眼鏡屋にて
球縁をに合する時
に摺り減らすに用

ふるものを使用し居たり。

かくしてレンズは出來上るなり。

全體を參觀したる後同所にて作りたる平面硝子プリズム附の双眼鏡顯微鏡の對眼鏡等を一覽したり。

のうる。本題意即ち日本がひまほの技術を顕揚せん
うアキラケを果すコ論。此の實に武闘氣概を示す
か如ク貢丸に常見の御不休の如クは國を興す事の
か事に御重視すより。」主部長源多乙浦部教授

一等國！一等國！世人動もすれば口を開いて一等國といふ、我國の何處に一等國の資格があるか、貧乏なこと世界の一等國か、傳染病の多いこと世界の一等國か、富豪の吝嗇なこと世界の一等國か？國民が科學的に無趣味なこと世界の一等國か？

恐らく一等國として誇るべきものは他に之あらん、一等も二等も漠たる比較上の語ならば、我若し一等國と自稱せんとするも、標準の彼我全く異なるを如何せん。

假に一等國の資格を上の四つの否定に求めんか、遺憾ながら我國は未だその班に列するを得ず。何ぞ必ずしも四つに求めんや。衛生上の設備或は國民の衛生思想の程度のみによりて文明國の等級は定まるものと謂ふも可ならん。主都東京市年々ベストに襲はれ、コレラに襲はれ、チブスに襲はれ、かくの如くして我國は一等國と自稱するは先づ沙汰の限りと申すより外なからん。此の點より見るときは我國は實に貧弱なる世界の劣等國なりといふを妨げず。國民に衛生思想を普及し、自らその生命の安

全を保證する餘裕あらしむるは目下の急務なり。その源を尋ねれば國力の充實にあり。徒に結果を咎めてその依て來る所を忘るゝなけれ、下層の民常に衣食に汲々としてその衛生を顧みる遑なし。かくして傳染病は年々絶えざるなり。かくして我は一等國といふ天下泰平なること目出度し。

徹底といふ語の濫用 近頃無用の語流行する中に、徹底といふものあり。電車の中などにて好い加減の禿ヶ頭まで徹底なんと抜かす時代と相成り申した。あな恐ろしやこれ世界の大勢か將た頽勢か。由來日本人に徹底なんぞいふことの眞の意義の解る者ありや。又徹底せねばならぬ必要は何處にあるか。顧ふに東洋の美德は一否東洋の—我國の天地は徹底せぬ所に美德あるにはあらざるか。

孔子の言に親は子のために隠し子は親のために隠すといふが如き、或は恨に報ゆるに直きを以てすといふが如きは、東洋式非徹底の甚しきものなるべし。然れども是れ東洋の美德なり。今尙改むべき所以を見す。泰西の似而非文明は癩病患者の美貌なるが如し、爛熟せる薇薔色の頬の中に、恐るべき惡血の循るを知らずや。その系統の由來を知らずして之に近くは危険なり。志想界のことを以て片々たる衣裳の流行の如く撰まずして取

るが如きは不謹慎も亦甚しからずや。由來人間學には新しきものなし。變るものはその姿のみ。古人曰く

There are no new things under the sun.
と移して以て諷すべし。人の道は古今を通じて變ることなし。西人には西人の天地あり、我には我の育ちたる天地あり、自然の命する所姿は兎も角精神に於て相容れざるもの何ぞ必ずしも徹底の一語のみならんや。記せよ教育の仕事は文藝にあらず。諸子徒に時流を追ふて下らぬ文藝的讀物に誤らるゝ勿れ。西人既に之を喝破せり。文藝書類は出版後三年を経て尙好評あるものあらずんば讀ますと。

徹底せねばならぬものはたゞ一つ

「櫻かざして今日もくらしつ」と歌ふて眺めてばかり居つては植物の研究にはならず。植物に限らずナゼ斯うなるかといふことを何處までも追究して止まぬ所に、凡ての科學の研究が成り立つなり。科學的に研究することは凡て Exhaustive ならざるべからず。これより先きは解らぬといふ所まで行かねばならぬ。此のドン底まで求めて止まることは西洋人の特長なり。何となれば彼等はかくせねば生きて居れぬ世界に育ちたる故なり。之に反して我國民は古來樂園の如き天地に育ちたるが故にかかる必要が起らざりしのみ。何が幸となり不幸